

伊那市官民共創の新しいまちづくり協議会

対話・つながり・実現の場

## 第5回 開催報告

「高校生と考える今やりたいこと『駅前ちゃれんじ！』」  
伊那北駅で何をしたい？

2025.9.23

---

# 開催報告

## テーマ

「高校生と考える今やりたいこと『駅前ちゃれんじ！』」 伊那北駅で何をしたい？

## 開催概要

- 日時 : 2025年9月23日（火・祝）13:00-16:00
- 開催場所 : 伊那北地域活性化センター「きたっせ」
- 参加者 : 77人（一般参加：67人、協議会メンバー・市職員・関係者：10人）
- ファシリテーター : 長野県伊那北高等学校3年 森 蔵之助さん

## プログラム

### 1. 情報共有 「伊那北駅周辺整備の概要・伊那北駅の利用状況・アンケート分析」

説明者：(株)インテック 中西 啓太氏 ・ 都市整備課伊那北駅周辺整備係 田尻 勇木

### 2. 対話の時間 「伊那北駅周辺におけるこれまでのまちの営みと変遷」

話題提供：山寺区の皆さん

### 3. グループワーク 「駅前広場の立体コラージュを作ろう！ 『伊那北駅で何をしたい？』」

## 高校生と考える今やりたいこと『駅前ちゃれんじ！』



高校生ファシリテーターの森蔵之助さん（左上）

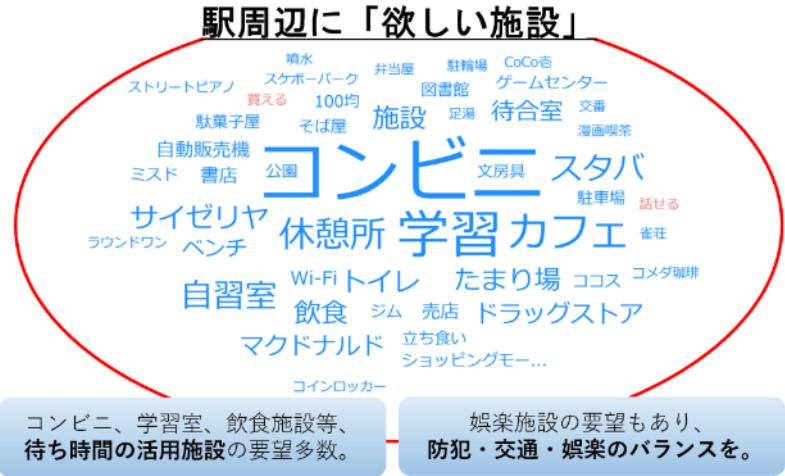
世代を超えた「対話」が実現。



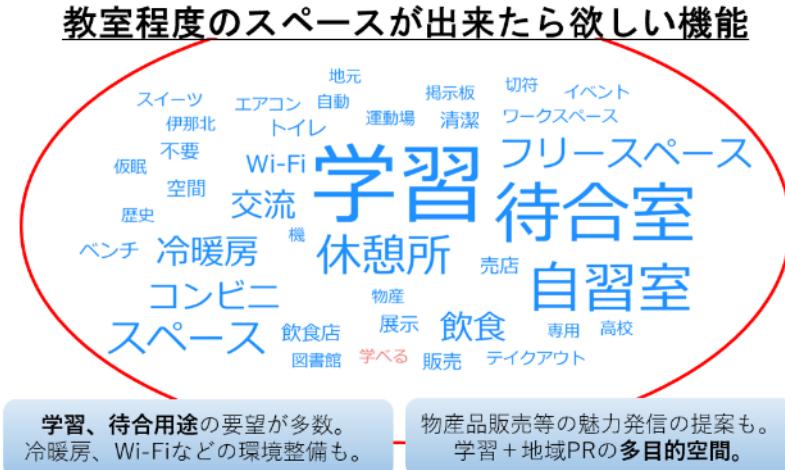
- ・都市整備課より伊那北駅周辺整備の概要説明とアンケート結果の分析結果を報告説明
- ・高校再編による伊那新校・上伊那総合技術新校の開校により、伊那北駅の利用者が増加することは明らか。
- ・現状でも手狭なことから、駅前広場の拡張(範囲未定)と、駅舎リニューアルを検討していると説明

## 情報共有 「アンケート分析」

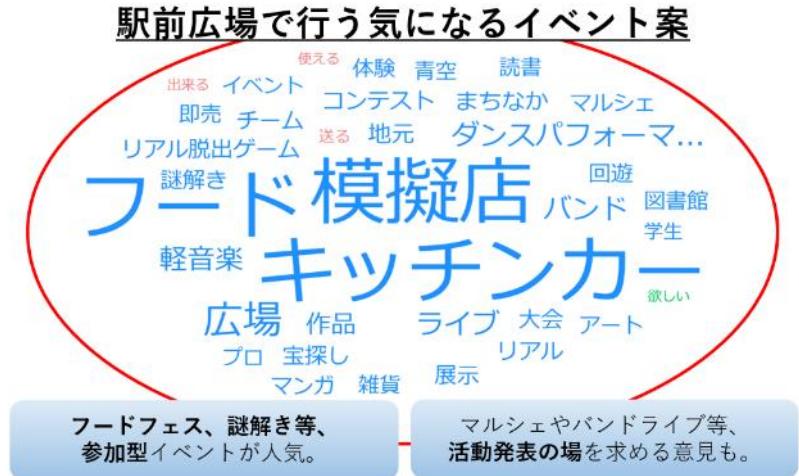
Q. 駅周辺に「欲しい施設」は・・・。



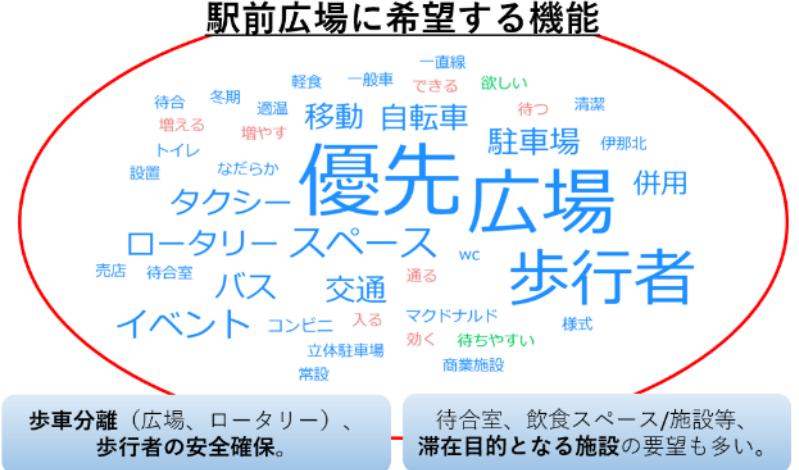
Q. 駅の中に「教室程度のスペース」ができたら・・・。



Q. 駅前広場で行うイベント（案）で気になるものは・・・。



Q. 駅前スペースが2倍の広さになったら・・・。

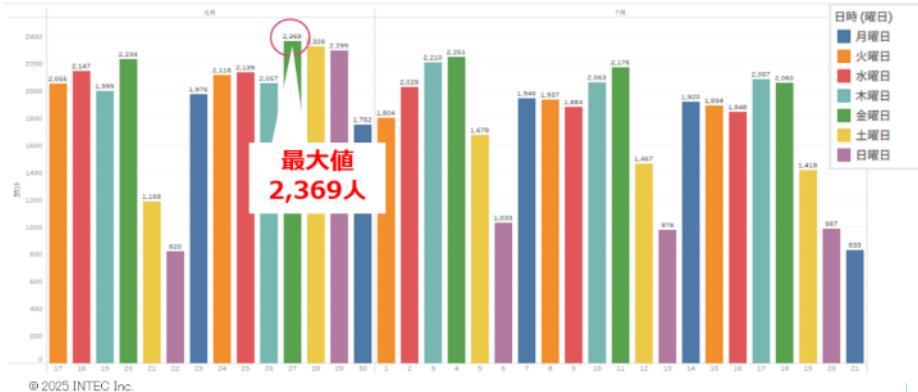


# 情報共有 「伊那北駅の利用状況」

## 伊那北駅の通行者数



●通行者数平均：平日は約2,000人／日、休日は約1,300人／日



9

## 伊那北駅の通行者数

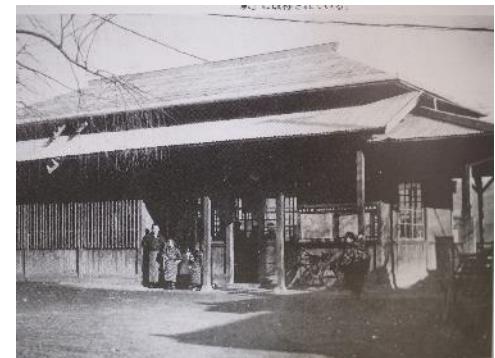


●通行者が多い時間帯：朝は7～8時台、夕方は16時～19時台



## 「一昔前の“伊那北駅周辺のまちの営み”」スライドショー

対話・つながり・実現の場



画像提供：山寺区の皆さん

## 対話の時間 「伊那北駅周辺におけるこれまでのまちの営みと変遷」

対話・つながり・実現の場



- ・グループワークで、山寺区の皆さんから高度成長期の街の賑わいや、その当時に行われていた行事などについて情報提供していただく。
- ・それに対して他のメンバーからの質疑があり、世代を超えた意見交換が活発に行われた。
- ・10代から80代まで幅広い年齢構成だったが、それぞれの発言に耳を傾け、それぞれ新しい発見があった。

## 【参加者の感想】

- ・高校生と山寺区民では思っていることに違いがあったが、良い意見交換ができた。賑やかにしたいという思いは一緒で、やりたいと思うことがそれあって面白いと思った。（10代）
- ・伊那北駅周辺の歴史を知ることができ、多くの店舗、人の賑わい、駅前の様子が分かった。（60代）

# 「対話の時間」で話題にあがったこと

## この地域での思い出（地元の方からの情報提供）

- ・高校時代：自転車、バス、電車などで通った
- ・真冬でも下駄
- ・貨物列車が通っていて、貨物関係者も多かった。
- ・駅そば：結構美味しかったがすぐ閉店してしまった。
- ・喫茶店「マドンナ」：高校生禁止だったがそこそこ行った。
- ・お菓子屋さん：30円のたい焼き売っていた。
- ・川の上のお店街（ローメン、とんかつ、駄菓子屋など）
- ・もとは闇市 引き上げの人の働く場として黙認されていた。
- ・一万円道路：伊那北校に続く道、もとはお店があった。
- ・食堂、靴屋、文房具店、肉屋、ボーリング場もあった。
- ・広場周辺で喫茶店やゲームセンターがあった。
- ・駅舎にキオスクがあった。 上農が移転してきた。
- ・以前は大きい道ではなく、細い道の方が使われていた。

## 今やっても面白そうなこと・やってみたいこと

- ・駅そば マルシェ、おにぎり
- ・上農で作った野菜などを駅で売る ピザ窯（上農の野菜で）
- ・校章の入ったブランド食材
- ・キッチンカー（立ち寄って友達と話しながら）
- ・朝ごはん食べられるようなお店（雇用創出）
- ・ボーリング場など遊べる場所があったら岡谷とか行かない
- ・地域のイベント（盆踊り、DJできる人がいる、バスケット）
- ・盆踊り＆ダンス ステージ使って発表など
- ・高校生相手のお店 高校（目的地）があるから活気がある。
- ・バンド、スケボーパーク、ギャラリー イルミネーション
- ・待ち時間の過ごし方 自習室 発表の場 プリクラ
- ・安くて長時間滞在できるファミレスのような場所
- ・昔の遊び大会（ベゴマ、メンコ、ボードゲーム等）

## こんな行事があった

- ・駅前広場で盆踊り 伊那まつり踊りも 区の運動会
- ・こどもたちに「やきもちおどり」、浦安の舞 大人との交流
- ・フォークダンス（上伊那高校生集まつた） コンサートステージ
- ・ハロウィンパーティー 鼓笛隊なども来ていた
- ・紳士服の店のおじさん：ゲージ好きで模型展示、走らせていた

## その他に話題にあがったこと

- ・バリアフリー化 Wi-Fiが欲しい。
- ・駅前学習スペース少ない→伊那市駅まで行くがいつも混んでいる
- ・アルラ（学習だけでなくワークスペース）→大人の利用
- ・駅前たこ焼き屋：意外と高校生に知られていない。
- ・噴水の下には防災用の貯水がある。
- ・駅前に屋根をつけて待てるスペースを作る。 野外ステージ
- ・バスの利用 帰り道は自家用車で迎え 近くに駐車場がない
- ・駅舎に切符売り場がない 歩車分離が必要-安全性
- ・線路を渡っている 入船駅もあった（駅間2.2km 山手線と同じ）
- ・道幅は変わっていない 駅広場にキッチンカー（ポテト）が来ている
- ・混雑時はバス一台分くらいの乗車がある
- ・駅にタクシー、バスが停まっている→タクシー対策（駐車場を変える）
- ・移動販売 スーパーが近くにほしい
- ・ファインディズは昔綿半だった
- ・フリースペース（誰でも利用できる）
- ・アイスクリーム自動販売機が欲しい。

# グループワーク 「駅前広場の立体コラージュを作ろう！ 『伊那北駅で何をしたい？』」

伊那市官民共創の新しいまちづくり協議会

対話・つながり・実現の場



- 対話の時間を見て、まず個人ワークで「自分がやりたいこと」を整理したうえで、グループごとにディスカッションして、立体コラージュを作成。
- 年代を問わずアイデアを出し合って全員が作業し、終始和やかな雰囲気でのグループワークとなった。
- それぞれに役割があることで会話が弾み、時には笑い声の聞こえる賑やかなワークショップだった。

# グループワーク 「駅前広場の立体コラージュを作ろう！ 『伊那北駅で何をしたい？』」

伊那市官民共創の新しいまちづくり協議会

対話・つながり・実現の場



グループワーク 「駅前広場の立体コラージュを作ろう！  
『伊那北駅で何をしたい？』」

伊那市官民共創の新しいまちづくり協議会

対話・つながり・実現の場



## 参加者アンケートより（抜粋）

### 「伊那北駅周辺整備状況、利用状況等」を聞いた感想

- ・伊那北駅で降りる人と乗る人の数がイコールじゃないのが不思議！！  
高校生以外の地元の方は駅をよく利用するのでしょうか？次は利用人口の振り分け（年齢・利用理由など）も知りたいです。（30代）
- ・みんなが楽しく暮らせるような駅になってほしい。（10代）

### ＜対話の場＞「これまでのまちの営みと変遷」に参加した感想、感じた魅力や課題

- ・昔やっていた駅前でのイベントを復活させて、昔から住んでおられる地元の皆さんに、喜んでもらったり懐かしんでもらえるといいなと思いました。そこにプラス高校生が加わって、活気がありつつも昔懐かしい風景を再現できると素敵だと思います。（30代）

### ＜グループワーク＞「駅前広場の立体コラージュを作ろう！」に参加した感想

- ・楽しみながら対話を見える化する面白い取組だと感じました。どのグループも方向性は似通っていて、伊那北駅がいろいろな人が集い、思い思いに過ごすことのできる場になることを望んでいると感じました。（50代）
- ・立体で作ることによって、実現しそうで面白さが増した。（10代）

### 全体的な感想など

- ・あれだけの人数の高校生が集まり、ファシリテーターを務めるところから、グループ内でも積極的に発言したり、全体でも意見を言ったり、自分の頃と比べて高校生のレベルがとても高いと感じました。  
各グループで山寺区の方に対話に参加していただき、型にハマった言葉でなく本音で（ネガティブな部分も）フランクに話していただき、今の高校生がどのような意見を持っているのかも堅苦しくなく聞けて、非常によい雰囲気の対話の場だったと思います。（50代）
- ・高校生を中心としての話し合い、進行はとても良かったです。  
年齢を超えて皆で、考え、作り出す事はとても楽しいので、これからも若者参加があると良いです。（60代）
- ・全国に見ない唯一無二の駅をつくりたいし、そのチャンスがあるんだと気付けました。ありがとうございました。（30代）

### 今後参加してみたい「対話・つながり・実現の場」のテーマ、関りたいまちづくりの取組

- ・商業施設のご意見や、実際暮らしている方々の困っている事、伊那北駅付近がこうあると良いという話し合いに参加したい。（60代）
- ・駅舎や駅のデザインの話し合いがあれば参加したいです。  
あとは「そば屋復活」のお話も個人的には前向きに考えています。何年後になるかわかりませんが。（30代）

## グループリーダーのふりかえり（伊那北駅周辺再生WG・インテック・市）

- ・伊那北駅周辺における当時の様子を聞きながら、当時は様々な施設（ゲームセンター、ボーリング場、スーパー、パン屋、コンビニほか）による“にぎわい”が生まれていたと思うが、これからの取り組みは、それらの施設がなくても「人」による“にぎわい”創りである。
- ・駅前広場の立体コラージュの製作において、チームメンバーの共通ワードは「交流」。
- ・ただ通る場所から、使う・目的になる場所、高校生や地域の人が立ち寄って“ホツ”とする場所、地元の人と駅を利用する学生や社会人などが「交流」できる場所にしたいという意見が多かった。
- ・「交流」するためのアイデアも多く出たため、まさに「人」による“にぎわい”創りに向けた対話が始まっていると感じた。
- ・現実には、広場といつてもコンクリートで固めるだけだよ・・・とネガティブな声から始まったワークショップが、最後には「伊那まつりのゴールに相応しい場」にしようという思いに変化したことが印象的で、（他のチームに対し）自分たちは・・・と考えるプロセスが、ごく自然に、「駅前広場を自分事として考える」という狙いの達成に繋がったのだと思う。
- ・また利用者が1800人（1.5倍）のいう数字も、多いか少ないかということよりも、これまでと違ってくるという、意識変化の裏付けとして作用しており、「高校生」の思いを受け止めたいという会話を生んでいたと感じる。駅の待合室が、単純に広くなることよりも、友達とちょっと溜まっておしゃべりができる拠り所が複数ある方が、高校生にとっては嬉しいということも会話から見えてきた。駅舎～広場をシームレスに捉えながら、立体的に居場所を散りばめていくという視点が今後の空間づくりに重要であると思った。
- ・『自分』を主語にして考えることで、参加者全員が、より参加している意識作りができた対話の場となった。
- ・終了後、山寺区の皆さんのお話を聞くと、「よくあるガス抜きの場とは違って参加できて楽しかった」「当事者意識をもって活動に取り組むことができた」などなど、前向きに参加したことがうかがえる意見が多く聞かれた。
- ・箱モノや、大まかな整備は行政主導になることは地元の皆さんも分かっていても、どこかで、「要望を聞いてほしい」という思いが残っている中で、今回の対話の場は、その想いを具現化する可能性を感じられたのではないかと思われる。大まかな部分はどうにもならないにせよ、広場や駅舎の中で出来ることに参加することができ、そこから街部に賑わいを広げていくこと、地元の皆さんも元気をもらうことができるのではないか、そんな可能性を感じることができた楽しいひと時だった。
- ・和やかに終えて、結果もあって、会としてはよかったです、主題の「主体のある活動する人の発掘」に結びつくのか、掬い上げかたや人物の特定をする必要があると思う。
- ・会の後に告知や別のイベントの紹介など、本会の内容が結びつかないものは加えない方がよい。目的や趣旨が曖昧になる感じがした。
- ・駅周辺の今後について、それぞれの世代より生の声を聞くことができ、貴重な経験だった。
- ・上の世代のメンバーからは、主に過去のまちの様子について、学生メンバーからは現在の利用状況についてそれぞれ意見を共有した。
- ・グループの人数もちょうどよく、手を動かす機会があったことで、和やかな雰囲気で活動ができ。これについては、高校生がファシリテーターをしてくれたことも一つの要因だと感じた

## 充実感あふれるワークショップとなりました！



伊那新校、上伊那総合技術新校の開校を契機に、  
多様な皆さんとこれからの伊那市のまちを共に考えて創っていきたいという想いで「新しいまちづくり」が始まりました。

## 伊那市官民共創の新しいまちづくり協議会

### 対話・つながり・実現の場

誰かがやってくれるまちづくりに意見する、ではなく、自分がつくる、取り組む人と共にある。  
そんな、つながり、対話し、実現する場をどうしたらできるだろうか。

これからは、想いのある皆さんと共に考え、試行錯誤しながら共創の場をつくっていければと思います。

いつでも、思い立った時に、ふらりと参加でき、まちのこと暮らしのことを気軽に話せる場。

もっと知りたい、もっとやりたい、やってみようが生まれる場。

そんな新しくゆるいコミュニティが生まれる場。

そんな、いつでもそこにある場に育てていきましょう。